

6 更なる中心市街地活性化に向けた基本方針

以上の課題を踏まえ、中心市街地活性化の基本方針を、以下のとおり設定します。

(1) 基本方針Ⅰ：地域文化の発信・交流の拠点とする

市内には40社を超える映画・映像関連企業が立地しています。映画・映像関連企業は、それ自体がメディアを通じて地域の情報を広範囲へとPRできるものとして、是非とも活用すべきものです。また、地域で伝統的に実施されているお祭り等の文化活動も多く、地域の繋がりと賑わいを産み出す貴重な地域資源です。

そこで、中心市街地において、映画・映像文化をはじめとする豊富な地域資源に関する情報の発信拠点をつくります。また、地域で伝統的に実施されているお祭り等の文化活動を中心市街地で積極的に行います。これにより、地域資源を身近に感じられるようにし、中心市街地を地域文化に親しむ交流の拠点としていきます。

さらに、特色ある地域資源を広くPRし、市内への来街者の増加を目指します。

(2) 基本方針Ⅱ：まちを回遊し賑わいを創出する

中心市街地が、目標Ⅰ「地域文化の発信・交流の拠点」となることにより、市内の地域資源をより強くPRし、来街者の増加を図ることができます。また、点在する地域資源を結びつけることにより、市域全体の回遊性を向上させることもできます。

これと同時に、市内の各観光スポットへの来街者や駅利用者、地域住民が、中心市街地内を歩いて楽しめるよう、回遊したくなる取組や歩行者に優しいまちづくりを積極的に進めます。

中心市街地が「地域文化の発信・交流の拠点」となり、回遊したくなる取組や歩行者に優しいまちづくりを進めることにより、中心市街地が市内地域資源を巡る際の発着地点となり、市内全域の回遊核となることを目指します。

(3) 基本方針Ⅲ：賑わいのある商業地域をつくる

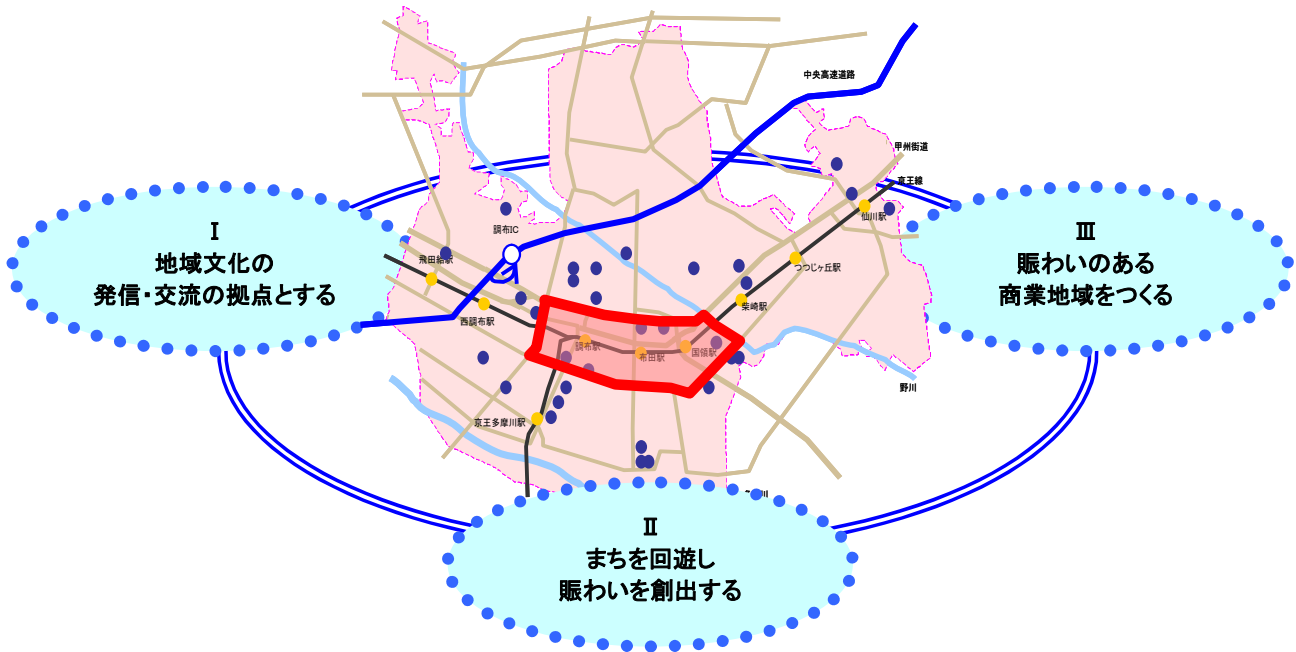
中心市街地が地域文化の発信・交流の拠点となるとともに、歩いて楽しめる街となることにより、地域住民の利用促進のみならず多くの来街者が見込まれます。中心市街地内で買物を楽しむ環境を更に高めることにより、相乗的な活性化が期待できます。

ただし、課題で述べたとおり、駅前周辺にスポット的に商業施設を整備していくのではなく、回遊性を向上させる取組とのセットで身近な買物の場である中小規模小売店舗の魅力を高め、歩いて見てまわりながら買物や飲食等を楽しめる環境を整備することが重要です。

そこで、商店街という一定程度の広がりのある商業地域全体の魅力を高め、地域住民の日常利用のみならず、来街者が買いまわりを楽しんでもらえるようなまちを目指します。

基本方針Ⅰ～Ⅲをまとめた、中心市街地活性化イメージは、次のとおりです。

中心市街地活性化の基本方針



地域の商業・文化・賑わいが織りなす物語～映画のまち調布～ ※

※重要な要素は、「地域の商業」「地域の文化」「回遊と賑わい」です。調布という名が意味する「布」をイメージして、「様々な要素が紡ぎ合わされて一つになる＝織り成す」という言葉を用いました。また、「物語」とは調布で生きる人々の生活をイメージしており、地域の商業、文化、賑わいで形成されることを意味しています。さらに、調布市固有の地域資源である「映画のまち」を取り入れ、このコンセプトキーワードを設定しました。

7 中心市街地活性化の取組

(1) 中心市街地活性化の基本方針を実現するための取組概要

「6 更なる中心市街地活性化に向けた基本方針」において示した中心市街地活性化の基本方針を実現するために、下記の取組を実施していきます。

基本方針Ⅰ 地域文化の発信・交流の拠点とする

① 魅力的な駅前広場の整備とその活用

地域文化の発信・交流の拠点とするには、その拠点機能を象徴的に担えるモノ（場所や施設）が必要となります。

そこで、駅前広場を、人が集まり、憩い、地域のお祭りなどにも使える空間として整備し、新たな賑わいを創出します。

また、駅前広場内に市内の情報を発信することができる機能を持たせ、商店会情報や観光情報等を発信します。

【中心市街地活性化事業】

- ・駅前広場の整備
- ・公共施設棟（仮）の整備
- ・観光インフォメーションコーナー運営
- ・市内観光情報の発信
- ・デジタルインフォメーションパネル設置
- ・マルシェ、屋台村の開催

② 「映画のまち調布」の推進

市内に集積する映画・映像関連企業により代表的な地域文化となっている映画・映像関連資源は、それ自体が地域を広くPRできるものでもあります。

そこで、市内に集積する映画・映像関連企業のニーズを把握しながら、市内での映画・映像関連作品が積極的に制作されるよう、撮影・制作しやすい環境をつくります。

また、市内で制作された映画・映像関連作品を駅前広場などで上映したり、映画・映像に関するイベントを積極的に実施することで、「映画のまち調布」を身近に感じられる環境づくりを進めます。

【中心市街地活性化事業】

- ・調布映画祭
- ・調布500円名画館、調布ソサエティ
- ・ショートフィルムコンペティション
- ・キング・フィルム・フェスティバル
- ・高校生フィルムコンテスト
- ・ジュニア映画塾
- ・日本映画批評家大賞授賞式、受賞作品上映会
- ・フィルムコミッション
- ・商店会CM制作、上映
- ・映画俳優の手形制作、展示
- ・ソサエティグッズ誘致
- ・映画資料室における映画資料の収集・公開
- ・市内映画・映像関連企業との連携強化

基本方針Ⅱ まちを回遊し賑わいを創出する

③ 鉄道敷地の整備・活用

まちを回遊するには、回遊軸となる空間が必要となります。

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化され、鉄道敷地が利用可能となります。この鉄道敷地を緑道として整備し、主要な回遊軸としていきます。また、お祭りなど地域のイベント会場にも利用するなど、まちなかの賑わい創出につなげます。

【中心市街地活性化事業】

- ・鉄道敷地の整備
- ・鉄道敷地の活用

④ 都市基盤の整備・改善

「庭園広場」としての駅前広場や「庭園通り」としての鉄道敷地の緑道利用と合わせて、回遊性の向上には快適に通行できる空間の確保が必要となります。また、鉄道の地下化による市街地一体化の効果を更に高めることも重要です。

このため、都市計画道路の整備や歩道拡幅整備、各種市街地開発事業により快適な歩行空間を確保し、回遊しやすい通行環境や街並みをつくります。

【中心市街地活性化事業】

- ・市街地再開発事業（調布駅北第1地区、調布駅南口東地区）
- ・布田駅南土地区画整理事業
- ・都市計画道路整備（3・4・7号線、3・4・26号線、3・4・28号線、7・5・1号線）
- ・旧甲州街道沿道のセッパック

⑤ 使いやすい交通手段の構築

駅前広場や道路等の都市基盤が整備されることで、快適な道路環境が形成されます。この道路環境を活かして、新たな交通手段をつくり、まちなかの回遊性を高めることを検討していきます。

【中心市街地活性化事業】

- ・公共駐車場の活用
- ・コミュニティカブ
- ・自転車駐車場の整備

⑥ まちなか居住の促進

まちが賑わうためには、多くの人々が住んでいることも重要です。そこで、市街地開発事業等と連携し居住環境の整備を促進します。

【中心市街地活性化事業】

- ・市街地再開発事業（調布駅北第1地区、調布駅南口東地区）
- ・布田駅南土地区画整理事業

基本方針Ⅲ 賑わいのある商業地域をつくる

⑦ 個店の魅力づくり

賑わいのある商業地域づくりの根幹となるのは、個店の魅力の向上です。個店の魅力づくりについては、既に日常の商業活動において実施されているところですが、更なる取組を行うことが重要となります。

そこで、商店会単位または幾つかの商店会ごとに共通のテーマ（将来像）を掲げ、それに向かった魅力づくりを個店で行うよう、地元商店会・商業者と検討していきます。

【中心市街地活性化事業】

- ・旧甲州街道歩道環境改善調査及び沿道まちづくり
- ・店頭の有効活用
- ・ワセグを活用した地域情報の発信

⑧ 水木先生キャラクターの活用

賑わいづくりには、特徴的な地域資源の活用が有効です。そこで、調布市名誉市民の水木しげる先生のキャラクターを活用してもらい、様々な賑わいづくりを行います。

【中心市街地活性化事業】

- ・まちなか¹ 祢展
- ・中心市街地9商店会合同イベント

⑨ 商店会イベントの実施

人が集い、賑わうためには、日常の商業活動だけではなく、普段とは違ったしかけも重要です。そこで、中心市街地内に9つある商店会において、季節に合わせた様々なイベントを実施します。

【中心市街地活性化事業】



- ・朝顔まつり
- ・調布銀座雪まつり

ほか

(2) 中心市街地活性化事業の内容

下記事業の実施にあたっては、顧客や来街者、市民等のニーズを捉えながら、実施主体者を確定させていただきます。


① 魅力的な駅前広場の整備とその活用

名称	実施主体	内容	検討レベル
調布・布田・国領駅前広場整備 	市	調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体型に整備する。 整備にあたっては、中心市街地デザイン・コンセプトに基づき、やすらぎとにぎわいのある「庭園広場」とする。	実施予定
公共施設棟（仮）建築	市	調布駅前広場内に、交番や観光情報発信機能等を備えた公共施設棟（仮）を建築する。	実施予定
観光インフォメーションコーナー運営	観光協会	公共施設棟（仮）内で、市内の観光案内、物産展示販売、映画・映像関連情報の提供を行う観光インフォメーションコーナーを運営する。	構想
市内観光情報等の発信	観光協会	公共施設棟（仮）内で、まちのCMや各種映画イベント情報等を放映する。	構想
駅周辺デジタルインフォメーションパネル 	市	調布駅前広場等に、デジタルインフォメーションパネルを設置し、駅周辺の店舗情報をはじめ、観光情報等を提供する。	構想
マルシェ、屋台村の開催	市、観光協会、商店会	市内農産物や特産品などを販売するマルシェや、ミニ屋台村を開催する。	構想


② 「映画のまち調布」の推進

名称	実施主体	内容	検討レベル
調布映画祭	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	公募市民により選定した映画を、調布市文化会館たづくりにおいて上映する。また、映画・映像関連企業の協力により、撮影機材などの展示を行う。	継続実施

調布500円名画館、調布シネサロン	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	調布500円名画館では国内外の名作品を上映する。調布シネサロンでは毎年テーマを設定し、テーマに沿った主に邦画作品を上映する。	継続実施
ショートフィルムコンペティション	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	調布映画祭における映画作品の上映と併せて、自主制作の映画・映像作品を全国から募集し、審査及び表彰を行い、受賞作品を上映する。	継続実施
キンダー・フィルム・フェスティバル 	一般社団法人キンダー・フィルム	世界の三大映画祭であるベルリン国際映画祭(ドイツ)の児童映画部門に出品された、世界各国の映画やアニメーションを上映する。また、映画祭と連携した地元商店会の取組も併せて実施する。	継続実施
高校生フィルムコンテスト	市	市内の高校から、自主制作の映画・映像作品をコンテスト形式で上映する。	継続実施
ジュニア映画塾	NPO法人ちょうふまちづくりの会	市内の中学生に対し、市内映画・映像関連企業のプロの映画監督や技術者の指導のもと、映画製作の企画から完成までの一連の作業を体験させる。	実施予定
日本映画批評家大賞授賞式・受賞作品上映会	一般財団法人日本映画批評家大賞	映画評論家の水野晴郎氏が創設し、過去20回開催している日本映画批評家大賞授賞式・受賞作品上映会を調布で開催する。	実施予定
映画・映像ロケ支援(フィルムコミッション事業)	市、観光協会	撮影に役立つ地域資源・既存施設を活用し、映画やテレビドラマ等の円滑なロケを支援する。	継続実施
商店会CM制作・上映 	商店会、映画・映像関連企業	日活芸術学院の協力を得て、中心市街地内9商店会ごとの商業フィルムを制作する。制作したCMは、映画祭の幕間や、駅前広場に設置する情報発信パネル等で上映する。	継続実施

映画俳優の手形制作・展示	観光協会，市	調布にゆかりのある日本映画を代表する映画俳優の手形を制作し，観光案内所などで展示する。	構想
シネマコンプレックス誘致	市	「映画のまち調布」推進のためには，市内で映画・映像鑑賞ができる施設が欠かせない。そこで，市内映画・映像関連企業と連携し，シネマコンプレックスを誘致する。	構想
映画資料室における映画資料の収集・公開	市	「映画のまち調布」の足跡をたどる地域資料収集の一環として，日本映画とりわけ日活・大映を中心とする映画資料の収集と一部公開をしている。 (映画資料：図書，雑誌，台本，パンフレット，ポスター，チラシ，スチール写真等)	継続実施
市内映画・映像関連企業の連携強化 	映画・映像関連企業	映画・映像関連企業間の情報交換・連携を促進し，映画・映像関連作品の制作を後押しする。	構想

③ 鉄道敷地の整備・活用

名称	実施主体	内容	検討レベル
鉄道敷地整備 	市	京王線連続立体交差事業により生み出される鉄道敷地を緑道として整備する。整備に当たっては，中心市街地デザイン・コンセプトに基づき，やすらぎとにぎわいのある「庭園通り」とする。	実施予定
鉄道敷地の活用	観光協会，商店会等	緑道として整備される鉄道敷地を活用し，ウォーキングイベントやマルシェ等，回遊性を高める各種イベントを検討する。	構想

④ 都市基盤の整備・改善

名称	実施主体	内容	検討レベル
調布駅北第1地区第一種市街地再開発事業	A地区：市街地再開発組合 B地区：未定	土地の高度利用と施設建築物の整備を図り，地区の商業・業務拠点を形成するとともに，歩道幅員の確保による歩行者回遊性の向上を図る。	継続実施
調布駅南口東地区第一種市街地再開発事業	市街地再開発組合	土地の高度利用と施設建築物の整備を図り，駅前にふさわしい地域拠点を形成する。	継続実施

布田駅南土地区画 整理事業	市	土地区画整理事業により駅周辺の都市基盤を整備し、駅前にふさわしい土地利用を図るとともに、宅地や公園等の公共施設を整備して、安全で快適な市街地の形成を図る。	継続実施
調 3・4・7 号線 整備（国領駅東地 区住宅市街地総合 整備事業）	東京都	老朽化した都営住宅等の建替により、土地の高度利用を図る住宅市街地総合整備事業において、都市計画道路調布 3・4・7 号線をあわせて整備する。	継続実施
調 3・4・26 号線 整備	市	布田駅周辺地区の円滑で快適に通行できる道路空間の確保と、良好な居住環境の形成を図るため、本道路の整備へ向けた検討を進める。	検討中
調 3・4・28 号線 整備	市	調布駅東側の南北動線の確保及び調布駅を中心とした歩行者回遊軸の形成に向け、本路線を整備する。	継続実施
調 7・5・1 号線 整備	市	調布駅付近の主要な南北動線として、市役所前通りを拡幅する。	継続実施
旧甲州街道沿道の セットバック	旧甲州街 道沿道商 店会、自 治会等	旧甲州街道沿道の商業活性化に向けた歩行者回遊性の向上のため、旧甲州街道沿道の建築物等について、道路から2mの壁面後退を行う。	検討中

⑤ 使いやすい交通手段の構築

名称	実施主体	内容	検討レベル
駐車場の有効活用	市、民間 事業者等	中心市街地内の駐車場ニーズは高いものの、新規の駐車場を設置することは難しい。そこで、公共施設などの休日に使用されない駐車場を休日に活用することで、利便性の向上を図る。	構想
コミュニティサイ クル	市、民間 事業者等	市内には様々な観光資源が存在するが、交通手段は限られている。また、鉄道敷地の整備により、自転車のニーズが高まることが想定される。 そこで、市内各駅及び観光資源にサイクルポート（自転車の借り受け場所）を設け、利用者に自転車を貸し出すコミュニティサイクルを運営する。	構想

自転車等駐車場整備事業	市,	<p>中心市街地で連立事業により生まれる鉄道敷地の利用などと併せ、駅に近接した利便性の高い駐輪施設の設置を計画的に進める。</p> <p>また、市内に存在する自転車等駐車場の整備・有料化を図る。</p>	継続実施
-------------	----	---	------

⑥ まちなか居住の促進

名称	実施主体	内容	検討レベル
調布駅北第1地区 第一種市街地再開発事業（再掲）	A地区： 市街地再開発組合 B地区： 未定	土地の高度利用と施設建築物の整備を図り、地区の商業・業務拠点を形成するとともに、歩道幅員の確保による歩行者回遊性の向上を図る。	継続実施
調布駅南口東地区 第一種市街地再開発事業（再掲）	市街地再開発組合	土地の高度利用と施設建築物の整備を図り、駅前にふさわしい地域拠点を形成する。	継続実施
布田駅南土地区画 整理事業（再掲）	市	土地区画整理事業により駅周辺の都市基盤を整備し、駅前にふさわしい土地利用を図るとともに、宅地や公園等の公共施設を整備して、安全で快適な市街地の形成を図る。	継続実施

⑦ 個店の魅力づくり

名称	実施主体	内容	検討レベル
旧甲州街道歩道環境改善及び沿道まちづくり	旧甲州街道沿道商店会，自治会	旧甲州街道を軸とした歩行者回遊性の向上に向け、商業活性化を含めた旧甲州街道沿道のまちづくりを進める。	実施予定
店頭の有効活用	商店会，商業者	個店の顔である店頭の更なる魅力づくりに向けて、店頭の有効活用について地元商店会と検討する。	実施予定
ワンセグを活用した地域情報の発信	大学	電気通信大学において、携帯電話のワンセグを活用した地域情報発信の仕組みを研究している。この研究を活用し、中心市街地商店会のお得な情報や映画祭，市内映画・映像関連企業の情報等を発信する。	実施予定

⑧ 水木先生キャラクターの活用

名称	実施主体	内容	検討レベル
まちなかパネル展	商店会, 商業者	水木先生の漫画をまちなかに展示することにより, 歩行者の回遊を促進する。また, 定期的に展示物をリニューアルすることで, まちへの再来を促し, 楽しい雰囲気演出する。	継続実施
中心市街地9商店会合同イベント	商店会	これまで水木先生キャラクターを活用した合同イベント「キーワードを当てよう! 2009」, 「妖怪を探そう! 2010」を実施している。引き続き, 商店会合同イベントを実施し, 商店会の回遊性を促進する。	継続実施

⑨ 商店会イベント

名称	実施主体	内容	検討レベル
各種商店会イベントの開催と連携	商店会	各種商店会イベントを実施する。相乗効果を生むための連携実施も検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝顔まつり/調布中央商店街 ・夏祭り抽選会と国領駅前盆踊り大会/国領商盛会 ・調布天神名物七夕祭り/天神通り商店会 ・小島町夏祭り/小島商栄会 ・納涼夕市/調布銀座商栄会協同組合 ・納涼盆踊り大会/布田南商店会 ・ハッピーまつり/不動商店会 ・イルミネーション/中心市街地9商店会 ・クリスマス抽選会/国領商盛会 ・ふところあったか感謝祭/上布田商栄会 ・歳末大売出し/調布中央商店会 ・調布天神冬祭り/天神通り商店会 ・小島町冬祭り/小島商栄会 ・調布銀座雪祭り/調布銀座商栄会協同組合 	継続実施

8 中心市街地活性化の進捗状況の把握と改善の考えかた

(1) 中心市街地活性化の進捗状況の把握

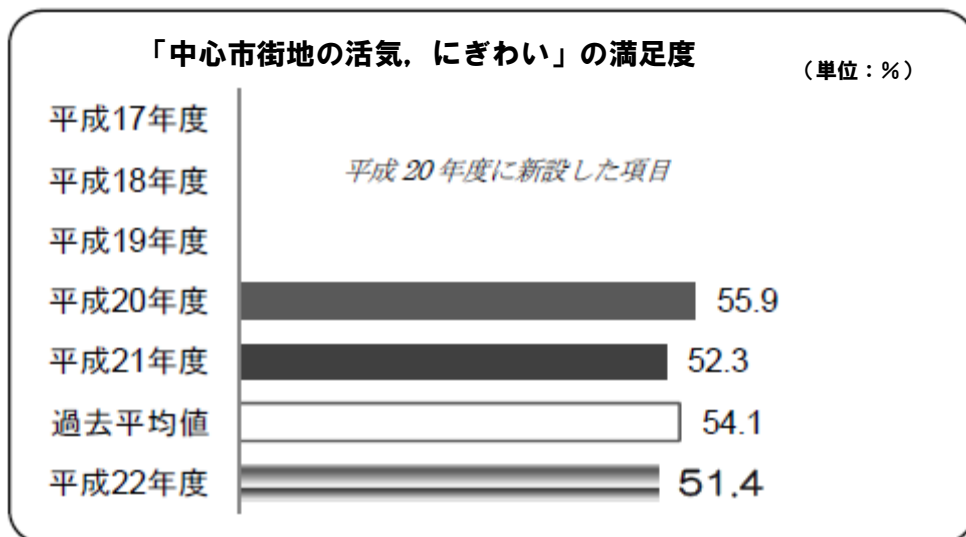
「6 更なる中心市街地活性化に向けた基本方針」を実現するため「7 中心市街地活性化の取組」を実施していきませんが、この取組による中心市街地活性化の進捗状況を把握し、必要な改善を施すことは重要です。

そこで、調布市が毎年調査している「調布市民意識調査」における「中心市街地の活気、にぎわい」の満足度を進捗状況の目安として把握していきます。

また、来街者による賑わいを判断するため、中心市街地内の京王線3駅（調布駅・布田駅・国領駅）の乗降客数の合計を目安として把握していきます。

① 「中心市街地の活気、にぎわい」の満足度

平成20（2008）年度から調査を開始し、平成22（2010）年度では51.4%となっています。これを、中心市街地活性化の取組を実施することにより、計画期間の最終年次である平成32年度において、60%とすることを目指します。



取組を実施して中心市街地活性化を推進！！

平成32年度 60

② 中心市街地内の京王線 3 駅の乗降客数の合計

平成 15（2003）年度と 21（2009）年度とを比較すると約 9%増加していますが、21 年度と 22 年度とを比較すると微減となっています。これを、中心市街地活性化の基本方針の実現に向けた取組を実施することにより、計画期間の最終年次である平成 32（2020）年度において、170,000 人とすることを目指します。

京王線の 1 日当たり乗降客数（人）

乗降客数	平成 15 年 (2003 年)	平成 21 年 (2009 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 32 年 (2020 年)
調布駅	108,164	115,654	114,906	
布田駅	14,472	15,635	15,573	
国領駅	31,828	37,827	37,745	
計	154,464	169,116	168,224	170,000
対 15 年比	—	109.5%	108.9%	110.0%
対 21 年比	—	—	99.5%	100.5%
対 22 年比	—	—	—	101.0%

増加

減少

増加

（2）今後の中心市街地活性化策の展開

上記の目安が達成されているかを、一定期間が経過することを確認していきます。この結果、達成することが困難であると考えられる場合は、適宜改善を施しながら展開を図ります。

また、中心市街地活性化は、常に時代のニーズに応じた取組を実施することも必要であるため、時代のニーズや実施主体の状況に合わせた活性化策を検討、追加していきます。

今後、時点修正しながら、新鮮で実効性と実現性を兼ね備えたプランとしていきます。